

フォーティーズ便り

発行:横濱フォーティーズ野球倶楽部
報道部
編集

特集 第30回寿野球全国大会



真ん中が「小板橋梨沙」ちゃんです。



旗手を務めた宮本さん



堂々?二日酔い?の行進

寿野球全国大会は今年が記念の30回目の大会です。我がフォーティーズからも第8回大会(1983年)に初参加以来(第17回大会は不参加)今年で22回目の参加となりました。毎年全国各地から集まってくる多くの仲間と和気あいあい「親睦」と「交流」を広げて来ました。今年も昨年度リーグ戦の覇者港南チーム主体に総勢20名が、五月晴れの絶好のコンディションに恵まれた信州戸倉県民グラウンドに、全国からの精鋭部隊88チームと共に集結しました。

前日の昼頃バスで横浜を出発し、新緑薫る信濃路の山々をつまみに早くも大盛り上がり。マネージャーが往復のバス用に用意した酒を、ビール以外は全て飲み尽くした。常宿「梅むら」での宴で又盛り上がり、例年通りのコース「エリコ」での宴会と疲れ知らず。朝の眩しい日差しの中、地元の中学生・可愛い孫娘「小板橋梨沙」ちゃん先導で堂々の入場行進。かつて甲子園を夢見た頃を思い出し開会式に臨む。打ち上がる花火の号音に心を弾ませ、Vに向かってイザ!出陣。



実行委員長杯 Cブロック

①第1試合【1回戦】
平和橋緑地公園グラウンド(晴れ)
試合巧者広田シニアに
惜しくも初戦敗退
塚田 初回到に沈む

	(3)	(2)	(1)	(3)	(0)	計	安打
広田シニア	3	1	2	1	0	7	(9)
フォーティーズ	0	1	1	0	1	3	(4)
	(0)	(2)	(1)	(1)	(0)		

勝 谷崎 敗 塚田

三塁打: 松井(広田)
二塁打: 伊藤慎・丸山(横濱)
石川・太田(広田)

横濱	打	安	打	通算
守 氏名	数	打	点	打率
5 土門	3	0	0	
6 伊藤重	1	0	1	
3 安藤	2	0	0	
4 吉田信	3	1	0	.333
7 伊藤慎	3	1	0	.333
9 村瀬	1	1	0	1.00
9 山田	0	0	0	
1 塚田	1	0	1	
1 川崎	1	0	0	
8 佐藤	2	0	0	
2 丸山	2	1	0	.500
チーム計	19	4	2	.211

投手	回	安	三	四	失
氏名	数	打	振	球	点
塚田	2	5	0	0	4
川崎	3	4	2	1	3
チーム計	5	9	2	1	7

初回塚田の立ち上り広田の先頭打者が右翼線の二塁打で出塁し2番の中前適時打と3番の右中間を破る三塁打の3連打と5番の中犠飛で早々と3点を奪われる。我が軍は簡単に3者が凡退に打ち取られて2回も7番打者の右前打を確実に送り1番の中前適時打で加点される。その裏伊藤慎の左越二塁打と村瀬が左前打と盗塁での1死2・3塁で塚田の内野ゴロで1点返す。3回代った川崎も四球とエラーでランナーを許し6番打者に左越適時二塁打で2点を与える。その裏丸山の中越二塁打を土門の内野ゴロでの三塁から伊藤重の左犠飛で1点挙げるも、4回広田の2・3・4番に3連打を浴びて加点されて、試合時間の限られた中で焦りもあり。終回となった5回2死後2四球と敵失で1点を挙げ尚1・3塁も最後は伊藤慎のライトへの大飛球も野手の好捕で初戦に敗退。



入場行進の先頭の大会プラカード
下は全チームが並んだ所です
甲子園のほぼ倍のチーム数!

当然ながら「国家斉唱」と「国旗の掲揚」もありました。左が大会旗です。右は...何だか忘れまして。



「さあ〜!行くで〜!!」



塚田投手の熱投です。



はいっ！ 全員勢揃いです。

よろしくおねがいしま〜っす！

①第2試合【敗者復活戦】
千本柳グラウンド(晴れ)

港南勢
伸び伸びプレーで快勝
萬木・富岡 初陣の長野で
パワー発揮で全開

	(1)	(2)	(0)	(3)	(0)	(2)	計	安打
フォアテース	1	2	0	2	0	1	6	(8)
ホーリース	0	0	1	0	0	0	1	(6)
	(0)	(2)	(3)	(1)	(0)	(0)		

勝 木原 **敗** 加藤

本塁打: 桐生(小出)
二塁打: 山田・丸山(横濱)



横濱		打数	安打	打点	通算打率
9	萬木	1	1	0	1.00
9	富岡	2	2	2	1.00
1	木原	2	0	0	
1	塚田	1	0	0	
1	佐藤	0	0	0	
1	川崎	1	1	1	.500
3	安藤	2	0	1	
4	高須賀	2	0	0	
4	吉田信	1	0	0	.250
5	土門	3	0	0	
6	村瀬	2	0	0	.333
8	山田	2	2	0	1.00
8	斎藤	1	0	0	
2	宮本	1	0	0	
2	丸山	2	2	1	.750
7	伊藤慎	3	0	1	.167
チーム計		26	8	6	.267

投手氏名	回数	安打	三振	四球	失点
木原	2	2	0	1	0
塚田	1	3	0	0	1
佐藤	1	1	0	0	0
川崎	2	0	0	0	0
チーム計	6	6	0	1	1

我が軍初回先頭打者萬木が鮮やかな右前打で出塁し果敢に盗塁を決め(サイン?)木原の内野ゴロで三塁に進んで安藤の右犠飛で先制のホームを踏みチームに勢い。2回は村瀬が死球と盗塁、山田が左前打での1死2・3塁から伊藤慎の内野ゴロと富岡の中前適時打で2点。4回は1死後山田と丸山の連続二塁打さらに富岡の適時内野安打で得点を加え、6回は丸山の中前打を足掛りに川崎の内野安打でダメ押し点を挙げて、4投手の木原・塚田・佐藤・川崎と小刻な継投で相手小出打線を3回9番桐生のセンター前の打球野手山田のダイビング?キャッチも1歩届かず外野を転々と転がっている間に与えた1点に留めて、港南出場メンバー全員がはつらつと長野のグラウンド上でプレーが出来た事を喜びに思う。

運転お疲れ様

名幹事 感謝!

キャプテンお疲れ

(注) お店の人ではない

←2試合目 大活躍のお二人



この2人、宴会場で全員分の日本酒を飲んでしまいました



そして... その後の記憶は無い



ナイスピッチング



太刀岡さんには監督代理もお願いしました



延泊組の悪事



- 遠征参加メンバー
- 会長 中筋 宏 (浜南)
 - 監督 太刀岡 正 (湘南)
 - 主将 安藤 修一 (港南)
 - 宮本 秀一 (港南)
 - 土門 純 (港南)
 - 木原 芳嗣 (港南)
 - 萬木紀一郎 (港南)
 - 塚田惣治郎 (港南)
 - 富岡 正行 (港南)
 - 高須賀 隆 (港南)
 - 村瀬 洋一 (港南)